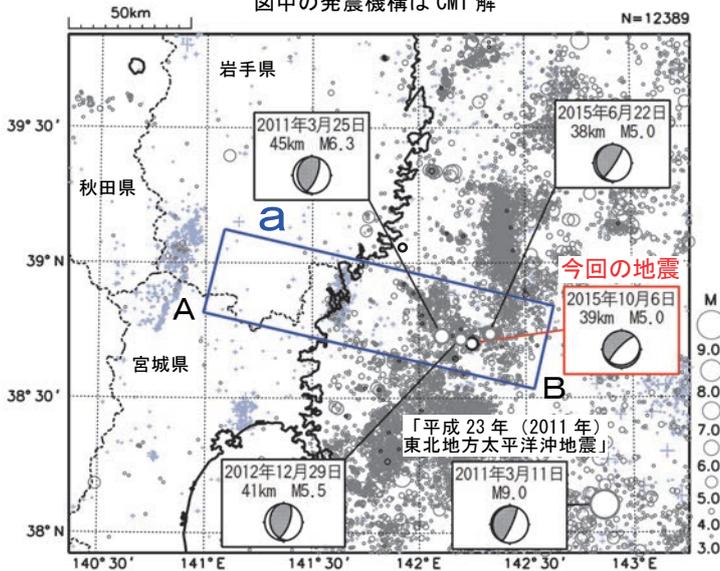


10 月 6 日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○
2015 年 10 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解

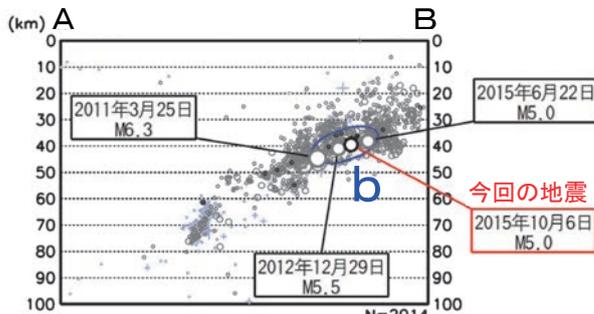


2015 年 10 月 6 日 18 時 32 分に宮城県沖の深さ 39km で M5.0 の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に張力軸を持つ型である。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度 1 以上を観測する地震が同日中に 3 回発生した。

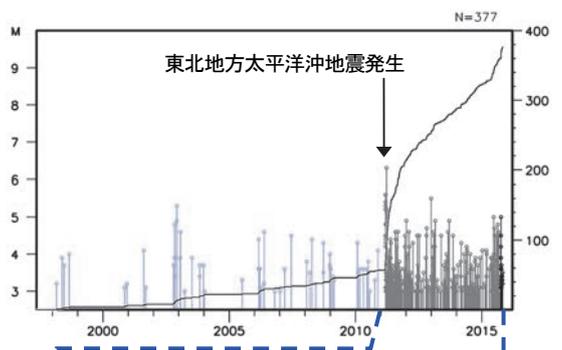
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M4.0 以上の地震が時々発生していたが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M5.0 前後の地震が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前から M7.0 を超える地震が時々発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



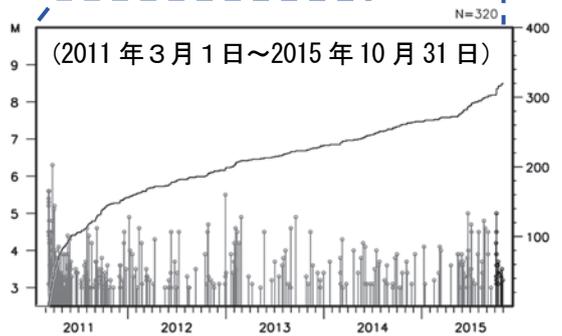
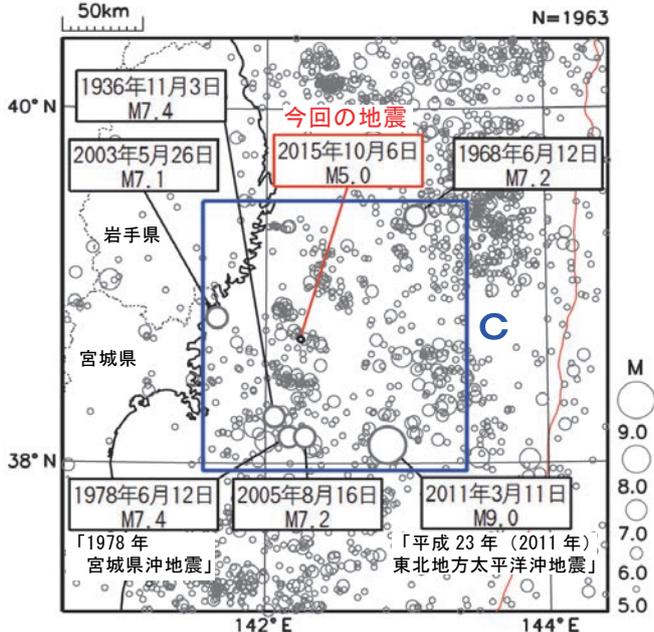
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

2015 年 10 月の地震を濃く表示



領域 c 内の M-T 図

